

平成 2 1 年度 桂川町教育委員会事業評価結果報告

平成 2 0 年度より、法律で教育委員会の活動について町民のみなさまへ公表することが義務づけられました。よって、以下の活動を公表いたします。

点検評価内容

大項目	中項目	小項目	点検・評価
1 教育委員会の活動	(1) 教育委員会の会議	教育委員会会議開催の回数	毎月 1 回、年間 1 2 回の定例会・3 回の臨時会（管理職候補者のための面接・評価、幼稚園振興計画の検討、教育長及び委員長の選任）
		教育委員会の運営上の工夫	常に委員全員が共通認識・共通理解が持てるよう、教育長の報告の下に連携をとってきた。
	(2) 教育委員会と首長の関係	教育委員会と首長の意見	2 回の実施。よりよい教育行政に向けて教育委員会の運営や教育現場の現状・課題を報告、指導主事の配置等について相談してきた。
	(3) 教育委員の自己研鑽	研修会への参加状況	県教育委員会主催、県教育委員会連絡協議会、PTA 関係、その他諸機関の研修会、町の研修会など全員の参加体制をとってきた。
	(4) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	学校訪問	年度初めの教育委員会独自の各校訪問及び、筑豊教育事務所の授業充実訪問において指導助言を行った。また「学校開放日」にも訪問指導等を行ってきた。
所管施設の訪問		随時必要に応じて訪問したり、報告を受けたりしているが、本年度は教育委員そろっての視察研修は実施していない。	
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること		「桂川町教育課題と目標」の内容を各校長に指導、指示を行った。
	(2) 教育委員会規則及び規定を制定し、または改廃すること		教育委員会で審議するようにしているが、本年度は特になし。
	(3) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること		教育活動が円滑に進むように、校長からヒアリングを行い改善努力してきた。また教育予算について町長と協議し、共通理解に努めた。
	(4) 社会教育・生涯教育に関し、基礎整備と学習機会の提供		常に向上を目指し、あらゆる機会に町民に参加してもらえよう社会教育課を中心に努力してきた。
	(5) 県費負担にかかる校長の任免、その他の人事の内申に関すること		校長の業績評価及び自己評価その他資料を中心に教育委員会で厳正に評価し、内申してきた。
	(6) 県費負担にかかる教職員の人事の内申に関すること		校長の具申をもとに、内申し、県教育委員会と相談して進めてきた。
	(7) 教育委員会の所管に関する各種委員会の委員の任命、または委嘱に関すること		本年度は 2 件、社会教育課・学校教育課及び学校長と合議の上、円滑に進めてきた。
	(8) 教科用図書の採択決定に関すること		法、管内の申し合わせ事項などを順守し決定する。本年度は活動なし。
	(9) 文化活動の振興と文化資源の保存・活用に関すること		文化連合会の支援その他文化活動の振興及び全国に誇るべき王塚古墳などの保存・活用について努力してきた。
3 教育委員会が教育長に委任する事柄	(1) 豊かな心と確かな学力を育む学校教育の充実	学力の向上を図る教育の充実	条件整備面での支援、学校訪問時の指導助言等を行ってきた。各校は校長を中心に努力を続けている。
		心の教育を支える生徒指導の充実	各校の教育目標の重点課題としてとらえ、指導の徹底をするよう指導してきた。
		読書活動の充実	ボランティアを活用するなど学校の教育活動において充実するよう努力した。
		子ども一人ひとりを大切に する特別支援教育の充実	文科省の施策に基づき、各校に特別支援教育支援員の配置化など人的、物的両面から努力した。
		開かれた学校経営の推進	各学校に指導助言を行ってきた。広報「けいせん」に教育情報「けいせんっ子」を掲載してきた。
		指導力アップを目指した研修会の実施	指導主事を招聘し、教頭と主幹教諭合同の研修会を 3 回、全教職員対象の研修会を 1 回実施した。
	(2) 地域ぐるみで支え合う教育活動の充実	子どもの生きる力を育む家庭・地域の協力の推進	地域への協力依頼や広報「けいせん」に関係記事を掲載、「生き生き桂川っ子」育成総合連携推進事業による取組を行い、町民への啓発を行ってきた。
評価 総合 点検	教育委員 5 人が互いに連絡を取り合い、定例委員会議や臨時会議で学校教育、社会教育に関する意見交換を行い、円滑な教育行政のあり方や桂川町の教育の向上に努めてきた。成果も徐々に出てきているので、さらに努力を続けたい。		